

その他の便利な機能

● アラーム機能を使う（アラーム）

機能番号54

設定した日付の時刻にアラーム音を鳴らしたり、目覚し時計などとして使うことができます。メッセージや画像を表示させることもできます。アラームは20件まで登録できます。

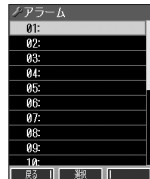
お買い上げ時：
未登録

アラーム設定を登録／編集する

待受画面で

1 5点 4点 登録／編集したいアラーム番号を選択し、 【選択】

アラーム一覧画面



以下の項目から選択し、必要な項目を登録／編集します。

<p>1. アラームON/OFF</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>1. 「ON」または2. 「OFF」</p> <p>2. 「アラーム時刻」で設定した時刻に、アラームを鳴らすかどうかを設定します。</p>
<p>2. アラーム時刻</p>	<p>時刻（24時制）を入力し、<input type="checkbox"/> 【確定】</p> <p>指定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
<p>3. アラーム日付^{*1}</p> <p>お買い上げ時： 「設定なし」</p>	<p>1. 日付指定（年月日）</p> <p>年月日を入力し、<input type="checkbox"/> 【確定】 <input type="checkbox"/> 【確定】</p> <p>指定の年月日の、2. 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。年月日は西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）を、2008年1月1日～2090年12月31日の間で入力します。</p>
	<p>2. 毎日</p> <p>毎日、2. 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
	<p>3. 平日（月～金）</p> <p>平日（月～金）の、2. 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
	<p>4. 週末（土、日）</p> <p>週末（土日）の、2. 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
	<p>5. 曜日指定</p> <p>1. ～7. （曜日を選択） <input type="checkbox"/> 1. 「ON」または2. 「OFF」（ <input type="checkbox"/> 【確定】）^{*2}</p> <p>指定した曜日の、2. 「アラーム時刻」で設定した時刻にアラームを鳴らします。</p>
<p>4. アラーム音</p> <p>お買い上げ時： 「固定パターン」/ 「アラーム音」</p>	<p>1. 固定パターン</p> <p>パターンを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>アラーム音を、あらかじめ用意されている12種類のパターンから選択します。</p>
	<p>2. メロディ</p> <p>メロディを選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>アラーム音を、あらかじめ用意されている8種類のメロディから選択します。</p>
	<p>3. データフォルダ</p> <p>アラーム音を選択し、<input type="checkbox"/> 【選択】</p> <p>アラーム音を、データフォルダから選択します。</p>
<p>5. 連続アラーム</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>1. 「ON」または2. 「OFF」</p> <p>5分ごとに5回アラームを鳴らします。</p>
<p>6. アラーム鳴動時間</p> <p>お買い上げ時： 「1分」</p>	<p>1. ～5. （時間を選択）</p> <p>アラームを鳴らす長さを選択します。「1分」～「5分」まで、分単位で設定します。</p>
<p>7. アラームメッセージ</p> <p>お買い上げ時： 「設定なし」</p>	<p>メッセージを入力し、<input type="checkbox"/> 【登録】</p> <p>アラーム動作時、メインディスプレイに表示するメッセージを入力します（全角、半角共に32文字まで）。</p>

8. アラーム画像 お買い上げ時： 「表示なし」	アラーム動作時に表示する画像を選択します。	
	7. 固定画像	▶ 7. 1 ~ 5. 2 (固定画像を選択) アラーム画像を、あらかじめ用意されている5種類の画像から選択します。
	2. データフォルダ*	▶ 「画像フォルダ」または「フォトフォルダ」を選択 ▶ 画像を選択し、 □ 【選択】 アラーム画像をデータフォルダから選択します。
	3. 表示なし	アラーム起動中に画像を表示しません。

*1: **3. 3** 「アラーム日付」を設定しないと、アラームを登録することができません。

*2: 曜日指定がすべて「OFF」の場合は表示されません。

*3: 撮影モードを「VGA」「SXGA」で撮影した写真(画像)、または「240×320」より大きなサイズの画像は登録できません。

2 **🔍** 【登録】を押す

🔍 お知らせ

- アラーム音やアラーム画像を選択した後、**🔍** 【再生】を押すと、選択した音や画像を再生することができます。アラーム画像再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **🔍** 【戻る】 : 再生を終了します。
 - ・ **🔍** 【全画面表示】 : データフォルダの画像を全画面表示します。
アラーム音再生中は、以下の操作を行うことができます。
 - ・ **🔍** 【停止】 / **🔍** 【停止】 : 再生を終了します。
 - ・ **🔍** 【戻る】 : 再生を終了します。
- アラームを設定すると、待受画面に「🔍」が表示されます。また、アラーム一覧画面では**7. 1** 「アラームON/OFF」が**7. 2** 「ON」に設定されているアラームに「🔍」が表示されます。
- アラーム機能の登録/編集は、以下の手順でも行えます。
待受画面で**🔍** ▶ 「アラーム」を選択し、**🔍** 【選択】 ▶ 登録/編集したいアラーム番号を選択し、**🔍** 【選択】
または
待受画面で**🔍** ▶ 「アクセサリ」を選択し、**🔍** 【選択】 ▶ **2. 2** 「アラーム」 ▶ 登録/編集したいアラーム番号を選択し、**🔍** 【選択】
- 本機の電源OFF時、また以下の動作中は、アラーム指定時刻になってもアラームは鳴りません。以下の各動作中の場合は、各動作終了後に鳴ります(機能リセット/メモリリセット/完全消去+初期化、本機起動中/終了中を除く)。
 - ・ 本機起動中/終了中
 - ・ アラーム/スケジュールアラーム/TODOアラーム鳴動中
 - ・ 通話中/発信中/着信中/データ通信中
 - ・ 伝言メモ応答録音中/再生中
 - ・ Myボイスメモ録音中
 - ・ リセット中(機能/メモリ/完全消去+初期化)
 - ・ リモートロック中
 - ・ メール送信中/受信中
 - ・ カメラのセルフタイマー起動中
 - ・ 位置情報通知中
 - ・ 京セラPHSユーザーティリソフウェア起動中
 - ・ USBマストレージ起動中
 - ・ 赤外線通信中
- アラーム音量やバイブレータの設定は、「アラームの音量/バイブレータを設定する」(124ページ)をご参照ください。

アラーム設定を削除する

アラーム一覧画面で 削除したいアラーム設定を選択 ▶ **🔍** 【メニュー】 ▶ **2. 2** 【削除】

以下の項目から選択します。

7. 1 1件	選択したアラーム設定を削除します(「各機能の情報を削除する」176ページ)。
2. 2 全件	登録されているアラーム設定をすべて削除します(「各機能の情報を削除する」176ページ)。

アラームを止める

アラームが鳴っているときに いずれかのキーを押す

🔍 ご注意

- アラーム動作中に着信があると、アラーム動作を停止します。
- 連続アラームの場合は、連続アラームの解除方法が表示されます。**🔍** 【解除】を長く(2秒以上)押すと、連続アラームは解除されます。

🔍 お知らせ

- 連続アラームが設定されている場合は、1回目のアラーム動作を停止した後、待受画面の「🔍」が点滅します。
- 連続アラームを解除するには、以下の手順でも行えます。
待受画面で**🔍** ▶ **🔍**

● メモ帳を登録する

本機をメモ帳代わりに使用することができます。メモ帳は20件まで登録できます。

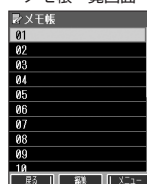
メモ帳を登録する

待受画面で 「メモ」を選択し、 「選択」 「メモ帳」 「登録するメモ帳を選択し」、
 「編集」 「メモを入力し」、 「登録」



- 入力できる文字数は1件あたり全角、半角共に512文字までです。
- メモ帳入力画面のメニューについては、「文字入力メニューを使う」(42ページ)をご参照ください。
- メモ入力中に着信などによって登録が中断された場合は、作成していたメモの内容は、一時的に保存されます。再度メモ作成を開始すると、「作成中のメモ帳データを使用しますか?」と表示されます。 「はい」を押すと、作成を再開できます。
- メモ入力中に を押すと、作成中データの破棄の確認画面が表示されます。 「はい」を押すと、作成中データは保存されずに待受画面に戻ります。
- メモ帳はテキストデータとしてエクスポートできません。

メモ帳一覧画面



メモ帳のメニューを使う

メモ帳一覧画面で 「メニュー」を押す

以下の項目から選択します。

編集	▶ メモを編集し、 「登録」
コピー	▶ コピー先を選択し、 「OK」 メモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
マイオリジナルへ登録	「メモ帳」をマイオリジナルに登録します(「マイオリジナルを使う」33ページ)。
削除	▶ 「1件」、 「選択」、または 「全件」 メモを削除します(「各機能の情報を削除する」176ページ)。
赤外線送信*	メモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」186ページ)。

*: メモ帳が登録されている番号を選択したときのみ表示されます。



- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか?」の画面で 「はい」を押します。

詳細を表示する

メモ帳一覧画面で 「メニュー」 「表示」 「メニュー」

以下の項目から選択します。

編集	▶ メモを編集し、 「登録」
コピー	▶ コピー先を選択し、 「OK」 表示しているメモの内容をコピーし、別のメモ帳No.に登録します。
マイオリジナルへ登録	表示しているメモをマイオリジナルに登録します(「マイオリジナルを使う」33ページ)。
削除	▶ 「はい」または 「いいえ」 表示しているメモを削除します。
赤外線送信	表示しているメモを赤外線で送信します(「赤外線で送信する」186ページ)。



- コピー先に、すでに登録されているメモがある場合は、「メモ帳△△は登録済みです」と表示されます。すでにあるメモを置き換えて登録するには、「メモ帳△△を書き換えますか?」の画面で 「はい」を押します。

● ダイヤルメモを使う（ダイヤルメモ）

電話番号などを書き留めておきたい場合に、本機をメモ帳代わりに使うことができます。

ダイヤルメモを登録する

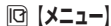
待受画面 / ダイヤル編集画面 / 通話中に **番号を入力し、 [ダイヤルメモ]**



- 入力できる電話番号は32桁までです。
- ダイヤルメモは3件まで登録できます。すでに3件登録されている場合、古いダイヤルメモから自動的に削除されます。

ダイヤルメモを呼び出して使う

待受画面で ▶ **「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 「ダイヤルメモ」 ▶ で利用したいダイヤルメモを選択 ▶**



以下の項目から選択します。

発信	▶ 【発信】 を押す 選択したダイヤルメモの電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。	
アドレス帳へ登録	新規	選択したダイヤルメモの電話番号をアドレス帳に登録します（「アドレス帳に登録する」46ページ）。
	追加	▶ （検索するアドレス帳の「名前」を入力し、 【検索】 ▶） ・アドレス帳を選択し、 【選択】 ▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、 【選択】 ▶ 【登録】 ▶ 【はい】 *：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（52ページ）と異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
ライトメール作成	選択したダイヤルメモの電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」64ページ）。	
削除	▶ 「1件」または 「全件」 ダイヤルメモを削除します（「各機能の情報を削除する」176ページ）。	



- ダイヤルメモは、以下の入力操作時に呼び出して利用することができます。
 - ・ライトメール作成の宛先入力（「ライトメールを作成して送信する」64ページ）
 - ・着信拒否する電話番号の入力（「着信拒否する電話番号を設定する」141ページ）
 - ・発信を許可する電話番号の入力（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」144ページ）

● 待受中に音声を録音する (Myボイスメモ登録)

待受中にマイクから音声を録音します。最大約30秒間録音できます。

待受画面で (サイドキー) ▶ 「Myボイスメモ録音」 ▶ 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約30秒経過または 【停止】 で録音終了

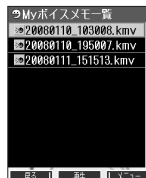
ご注意

● データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください。

お知らせ

- 録音したMyボイスメモのデータは、Myボイス一覧とデータフォルダの「サウンドフォルダ」から再生できます。
- 録音したMyボイスメモのデータ名は、以下の形式で保存されます。
例：2008年1月10日12時34分56秒に録音して保存した場合
「20080110_123456.kmv」
- 録音したMyボイスメモを再生するには、以下の手順で行います。
 - 録音直後に再生する場合
Myボイスメモ録音画面で 【再生】 を押し
 - 待受画面から再生する場合
待受画面で (サイドキー) ▶ 「Myボイスメモ再生」 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】
 - 通話中に再生する場合
通話中に 【メニュー】 ▶ 「メモ」を選択し、 【選択】 ▶ 「Myボイスメモ」 ▶ 【再生】 ▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】
通話中にMyボイスメモを再生すると、Myボイスメモの内容は自分と相手の両方に聞こえます。
- Myボイスメモ一覧画面で以下の操作を行うと、メニュー画面が表示されます。
Myボイスメモ一覧画面で 【メニュー】
以下の項目から選択します。

Myボイスメモ
一覧画面



7.1	マイオリジナルへ登録	Myボイスメモ一覧をマイオリジナルへ登録します (「マイオリジナルを使う」33ページ)。
2.1	削除	▶ 「1件」または 2.1 「全件」 Myボイスメモを削除します (「各機能の情報を削除する」176ページ)。

- Myボイスメモの録音または再生は以下の手順でも行えます。
待受画面で 【マイク】 ▶ 【メモ】を選択し、 【選択】 ▶ 「Myボイスメモ」
以下の項目から選択します。

7.1	録音	▶ 【開始】 ▶ 録音開始 ▶ 約30秒経過または 【停止】 で録音終了 Myボイスメモを録音します。
2.1	再生	▶ 再生したいMyボイスメモを選択し、 【再生】 Myボイスメモを再生します。

● 通信中の電話の着信を設定する (通信中着信)

機能番号17

通信中 (通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中) に電話がかかってきたとき、着信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：「起動」

待受画面で ▶ 7.1 ▶ 7.1001

以下の項目から選択します。

7.1	起動	パケット通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	着信した電話を受ける (通話する) ことができます。
		通話中、PIAFS通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	着信した電話を受ける (通話する) できませんが着信したことはわかります。
2.1	停止	通信中は、電話の着信ができません。	

ご注意

● 「通信中着信」を 「1件」に設定していても、通信環境によっては着信できないことがあります。

お知らせ

● Eメールの送受信中は、通信中着信動作を行うことができません。

● 通信中のメール受信を設定する（通信中メール受信）

機能番号18

通信中（通話中、パケット通信中、PIAFS通信中、フレックスチェンジ方式通信中）にEメール/ライトメールの受信を許可するかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「起動」

待受画面で ▶ ▶

以下の項目から選択します。

1. 起動	パケット通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	Eメール/ライトメールを受信することができます。
	通話中、PIAFS通信中 (フレックスチェンジ方式含む)	Eメール/ライトメールの受信をすることはできません。
2. 停止	通信中は、Eメール/ライトメールの受信をすることができません。	

● ご注意

- 「通信中メール受信」を「1.」 「起動」に設定していても、通信環境によっては受信できない場合があります。
- Eメールの「通信中メール受信」の動作は、ウィルコムのみ有効となります。

● お知らせ

- Eメールの送受信中は、通信中メール受信動作を行うことができません。

● プロフィールを登録/確認する（プロフィール）

機能番号0

プロフィールの詳細を登録する

自分のプロフィールを登録します。

待受画面で

1 ▶ ▶ [表示] ▶ [メニュー] ▶ [編集]

以下の項目から選択します。

項目	詳細
(名前)	自分の名前を入力します（全角、半角共に24文字まで）。
(ヨミ)	自分の読みを入力します（半角カナ英数字、記号で24文字まで）。
(電話番号)	電話番号を入力します（32桁まで）。
(電話番号種別)	電話番号種別を選択します。
(Eメールアドレス)	Eメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
(Eメールアドレス種別)	Eメールアドレス種別を選択します。
(住所)	住所を入力します（全角、半角共に40文字まで）。
(住所種別)	住所の種別を選択します。
(URL)	URLを入力します（半角英数字、記号で255文字まで）。
血液型	血液型を選択します。
誕生日	誕生日を入力します。
星座	星座を選択します。13星座から選択することもできます。
(趣味)	趣味を入力します（全角、半角共に10文字まで）。
(メモ)	メモを入力します（全角、半角共に80文字まで）。
画像	データフォルダの画像データをリンクします。

・各項目の入力方法は、「アドレス帳に登録する」(46ページ) をご参照ください。

2 各項目を入力し、 [登録] または [登録]

● お知らせ

- 「電話番号1」には、自分の電話番号がすでに登録されています。変更することはできません。
- 「メールアドレス3」は、オンラインサインアップで取得した自分のEメールアドレスが自動的に登録されます。変更することはできません。

登録したプロフィールの詳細を確認する

待受画面で **【表示】**

ご注意

●「メールアドレス3」は、オンラインサインアップ（54ページ）を行っていない場合、表示されません。

お知らせ

- 登録していない項目は、表示されません。
- プロフィール詳細表示画面で、以下の項目を選択すると、各操作を行うことができます。

プロフィール詳細
表示画面



項目	操作内容
電話番号2	▶ 【発信】 を押す
電話番号3	選択した電話番号に電話をかけます。
メールアドレス1	▶ 【Eメール作成】 を押す
メールアドレス2	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／装飾メール）」を作成して送信する」57ページ）。
メールアドレス3	
URL	▶ 【接続】 を押す Webページにアクセスします（「インターネットの使いかた」80ページ）。
(画像)	▶ 【再生】 を押す 選択している画像データを表示します。

■ プロフィール詳細表示画面のメニューを使う

プロフィール詳細表示画面で **【メニュー】** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択している項目により異なります。

項目	操作内容
発信 ^{*1}	▶ 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
ライトメール作成 ^{*1}	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」64ページ）。
Eメール作成 ^{*2}	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを新規作成します（「Eメール（テキストメール／装飾メール）」を作成して送信する」57ページ）。
URL接続 ^{*3}	Operaブラウザを起動し、選択したURLに接続します。
Eメールへ添付	プロフィールを添付したEメールを作成します。 添付されたプロフィールデータのタイトル名はプロフィールの「名前」、データ名は「名前.vcf」となります。プロフィールの名前にファイル名として使用できない文字<>：¥ / ? * . ; が含まれているときは、タイトル名に「notitle.vcf」と表示されます。
編集	プロフィールの情報を編集します。
リセット	▶ 【はい】 を押す 追加したプロフィール情報（電話番号1とメールアドレス3以外）をリセットします。
赤外線送信	プロフィールを赤外線で送信します（「赤外線で送信する」186ページ）。

*1：電話番号（電話番号1以外）を選択しているときのみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択しているときのみ表示されます。

*3：URLを選択しているときのみ表示されます。

お知らせ

●国際ローミングの使用をお申し込みされた場合、電話番号1には、ローミングモードが「日本／ウィルコム」のときは本機の電話番号が、それ以外のときはローミング用番号が表示されます（「国際ローミングを利用する」174ページ）。

● 通話時間を表示する

通話時間についての機能や表示の設定を行います。

通話時間の合計を表示する（累積通話時間）

機能番号 11

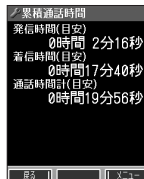
今までにかけた電話と、かかってきた電話の通話時間合計の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶

以下の項目が表示されます。

発信時間（目安）	今までにかけた電話の通話時間合計の目安です。
着信時間（目安）	今までにかかってきた電話の通話時間合計の目安です。
通話時間計（目安）	かけた電話とかかってきた電話の通話時間合計の目安です。

累積通話時間
表示画面



● ご注意

- この時間表示は目安です。

● お知らせ

- 累積通話時間は999時間59分59秒まで表示されます。これを超えた場合、累積通話時間の表示は999時間59分59秒で停止します。
- 累積通話時間のリセットは、以下の手順で行います。
累積通話時間表示画面で 【メニュー】 ▶ 「通話時間リセット」 ▶ 暗証番号を入力

通話中に通話時間を表示させる（通話時間目安表示）

機能番号 12

通話時間目安表示を「ON」に設定すると、通話中に通話経過時間の目安をメインディスプレイに表示し、通話終了後にはその時間の目安を表示します。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

● ご注意

- この時間表示は目安です。

お買い上げ時：
「ON」

● エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー）

機能番号 14

エニーキーアンサーを「ON」に設定すると、電話がかかってきたとき、、～、、のいずれかのキーを押して電話を受けることができます。「OFF」に設定すると、のみで電話を受けられます。

待受画面で ▶ ▶ ▶ 「ON」または 「OFF」

お買い上げ時：
「OFF」

● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

機能番号 16

電話の着信時に本体を開いて電話を受けたり、着信音を消したり、本体を振動させたりするなどの設定を行います。

待受画面で ▶ ▶

以下の項目から選択します。

状態継続	本体を開く動作を行っても状態は変わりません。
着信応答	着信中の電話を受けます。
サイレント	着信音が消音になります。バイブレータが設定されているときは、バイブレータも止まります。
サイレント+バイブ	着信音が消音になり、本機が振動します。

お買い上げ時：
「状態継続」

● 通話時間を表示する / ● エニーキーアンサーを設定／解除する（エニーキーアンサー） / ● 本体を開いたときの動作を設定する（着信時フォルダオープン）

● 上下キーに機能を設定する（上下キー割り当て）

機能番号95

待受中にフロントジョグ $\left[\begin{smallmatrix} \uparrow \\ \downarrow \end{smallmatrix} \right]$ で行うことのできる操作を設定します。

お買い上げ時：
「送受信メールBOX」

待受画面で $\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right] \triangleright 9 \text{ (MTR)} \triangleright 5 \text{ (点)}$

以下の項目から選択します。

機能名	フロントジョグ操作 $\left[\begin{smallmatrix} \uparrow \\ \downarrow \end{smallmatrix} \right]$	
1名前順		アドレス帳を「名前順」で表示します。
2アドレス帳No.順		アドレス帳を「アドレス帳No.順」で表示します。
3グループ順		アドレス帳を「グループ順」で表示します。
4送受信メールBOX	受信BOX画面を表示します。	送信BOX画面を表示します。
5音声着信音量	音声着信音量を大きくします。	音声着信音量を小さくします。

● ご注意

- ここで設定したフロントジョグ操作は、待受中のみ行うことができます。待受中以外の状態では、通話中は受話音量調節、着信中は着信音量調節などの操作になります。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て） 機能番号96

待受中にセンターキー長押しで行うことのできる機能を設定します。

お買い上げ時：
「Eメール受信」

待受画面で $\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right] \triangleright 9 \text{ (MTR)} \triangleright 6 \text{ (点)}$

以下の項目から選択します。

1Eメール受信	Eメールを受信します。
2カメラ起動	カメラを起動します。
3電卓	電卓を起動します。
4ブックマーク	ブックマーク一覧を起動します。

● ご注意

- ここで設定したセンターキー長押し操作は、待受中のみ行うことができます。

● 電卓を使う（電卓）

電卓として使用します。電卓はメインディスプレイ中央の操作ガイドを見ながら操作することができます。

待受画面で

1 $\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right] \triangleright$ 「アクセサリ」を選択し、 $\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right]$ 「選択」 \triangleright 1.2 「電卓」

2 ダイヤルキーと以下のキーを使用して計算する

$\left[\begin{smallmatrix} \uparrow \\ \downarrow \end{smallmatrix} \right]$	+ (たす)	$\left[\begin{smallmatrix} * \\ \square \end{smallmatrix} \right]$	小数点を入力します。
$\left[\begin{smallmatrix} \downarrow \\ \uparrow \end{smallmatrix} \right]$	- (ひく)	$\left[\begin{smallmatrix} M \\ + \end{smallmatrix} \right]$	M+ (メモリに加算)
$\left[\begin{smallmatrix} \leftarrow \\ \rightarrow \end{smallmatrix} \right]$	× (かける)	$\left[\begin{smallmatrix} \% \\ \square \end{smallmatrix} \right]$	% (パーセント表示)
$\left[\begin{smallmatrix} \rightarrow \\ \leftarrow \end{smallmatrix} \right]$	÷ (わる)	$\left[\begin{smallmatrix} M \\ \square \end{smallmatrix} \right]$	MR (メモリの値を表示)
$\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right]$	= (計算結果表示)	$\left[\begin{smallmatrix} C \\ \square \end{smallmatrix} \right]$	C (表示している数字のクリア)



● お知らせ

- 電卓機能の表示可能な桁数は10桁までです。
- 計算の結果にエラーが出た場合は「E」が表示されます。このとき $\left[\begin{smallmatrix} \square \\ \square \end{smallmatrix} \right]$ を押すとエラーが解除されます。

● センターキーの長押しに機能を設定する（センターキー長押し割り当て）
● センターキーに機能を設定する（センターキー長押し割り当て）
● 電卓を使う（電卓）

● 平型イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）

機能番号19

「イヤホン自動応答」を「ON」に設定すると、平型イヤホンマイク（市販品）を接続しているときに、手元で操作しなくても「イヤホン自動応答秒数」（171ページ）で設定した時間が経過すると、自動的に電話を受け取ることができます。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で ▶ **1.お** ▶ **9.お** ▶ **1.お** 「ON」 または **2.お** 「OFF」

● ご注意

- 伝言メモ（34ページ）が同時に設定されているときは、設定時間の短いほうが優先されます。
- 平型イヤホンマイクのスイッチでも着信応答ができます。
- 平型イヤホンマイクは平型プラグのもののみが使用できます。

● お知らせ

- 平型イヤホンマイクで通話を終了する場合は **1.お**、または平型イヤホンマイクのスイッチを押してください。
- 平型イヤホンマイクの使いかたについては、平型イヤホンマイク（市販品）の取扱説明書をご参照ください。

● 平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

機能番号10

「イヤホン自動応答」（171ページ）を「ON」に設定しているとき、自動的に電話を受け取るまでの時間（応答時間）を「00秒」～「30秒」に設定できます。

お買い上げ時：
「09秒」

待受画面で ▶ **1.お** ▶ **0.お** ▶ **▶** で応答時間を選択し、 **【選択】**

● お知らせ

- ダイヤルキーを利用して応答時間を入力することもできます。

● 平型イヤホンマイクを接続する（イヤホン自動応答）
● 平型イヤホンマイクの応答時間を設定する（イヤホン自動応答秒数）

● 現在の位置情報を通知する

一つの基地局のカバーするエリアが半径100～500mという利点を生かし、発信／着信の際に把握する近隣の基地局からの情報を利用して位置情報サービスが情報提供会社から提供されています。

- ・ LI (Location Information/位置情報通知) 機能：本機が認識する複数の基地局とその電界強度を通知する機能です。この機能によって、自分がいる位置またはその周辺の情報などを知ることができます（測位の誤差が発生する場合があります）。
- ・ 自動位置情報送出：「LI設定」を「ON」に設定すると、自動位置情報送出を設定することができます。本機に通知許可番号として登録している電話番号から遠隔操作で現在位置の送出を要求された場合、自動的に位置情報を通知します。

🔍 ご注意

- 管理者ロックの「LI設定変更」(159ページ)が「禁止」に設定されているときは、LI設定の設定を変更することができません。

LI機能を設定する (LI設定)

機能番号91

「LI設定」を「ON」に設定すると、「自動位置情報送出」を設定することができ、位置情報サービスを利用することができます（ウィルコムへの加入、およびウィルコム位置検索サービスまたは位置情報サービス提供会社などへのお申し込みが必要）。位置情報サービスを利用すると、遠隔操作により、移動する人や物などの位置を、パソコンなどのディスプレイ上にリアルタイムで表示します。迷子防止や物品の管理のためなどに設定することができます。

自動位置情報送出では、以下の3つの機能を設定することができます。

- ・ 自動位置情報送出
- ・ 位置情報を通知する電話番号（通知許可番号）の登録／修正／消去
- ・ 位置情報送出時の送出確認音の設定

📺 待受画面で

1 「ON」

現在の自動位置情報送出の設定状況が表示されます。

2 「設定」 ▶ 「暗証番号を入力」

以下の項目から選択します。

<p>1 自動位置情報送出機能</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ 「ON」 または 「OFF」</p> <p>通知許可番号として登録されている電話番号から位置情報送出が要求されたとき、位置情報を自動的に送るかどうかの設定をします。あらかじめ、通知許可番号を登録しておく必要があります。</p>
<p>2 着信音設定</p> <p>お買い上げ時： 「OFF」</p>	<p>▶ 「ON」 または 「OFF」</p> <p>自動位置情報送出で位置情報を送ったときに、送信確認音を鳴らすかどうかの設定をします。</p>
<p>3 通知許可番号</p>	<p>位置情報送出が要求されたときに、位置情報を自動的に送る電話番号の登録をします（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」172ページ）。</p>

自動位置情報送出設定画面



🔍 ご注意

- 自動位置情報送出機能を利用するときは、「LI設定」を 「ON」に設定し（「LI機能を設定する」172ページ）、有効な通知許可番号が登録されている必要があります（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」172ページ）。

📺 お知らせ

- 「自動位置情報送出機能」で位置情報を送る相手の電話番号は、 「通知許可番号」で設定します（「通知許可番号と通知許可パスワードを登録する」172ページ）。
- 「自動位置情報送出機能」を設定すると、メインディスプレイに「」が表示されます。「LI設定」が 「OFF」に設定されているときは、「」は表示されません。

通知許可番号と通知許可パスワードを登録する

機能番号913

自動位置情報を送る電話番号を、「通知許可番号」として登録します。電話番号は5桁まで登録ことができ、それぞれに通知許可パスワードを設定します。通知許可パスワードについては、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

📺 自動位置情報送出設定画面で

1 「通知許可番号」 ▶ 登録する番号を選択 ▶ 「メニュー」 ▶ 「登録」

2 「通知許可番号」を入力し、 ▶ 「通知許可パスワード」を入力し、 「登録」

📺 お知らせ

- 入力できる通知許可番号は20桁までです。
- 入力できる通知許可パスワードは1桁から8桁までです。

お買い上げ時：
通知許可番号：未登録
通知許可パスワード：未登録

■通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除する

登録した通知許可番号と通知許可パスワードを編集／削除します。

自動位置情報送出处設定画面で **「通知許可番号」** ▶ **編集または削除する番号を選択** ▶ **【メニュー】**

以下の項目から選択します。

1枚 編集	▶ 1枚 「通知許可番号」を編集し、 ▶ 2枚 「通知許可パスワード」を編集し、 【登録】 登録済みの通知許可番号と通知許可パスワードを編集します。
2枚 削除	▶ 1枚 「1件」または 2枚 「全件」 通知許可番号と通知許可パスワードを削除します（「各機能の情報を削除する」176ページ）。

位置情報を通知する

「**L**設定」を「ON」に設定すると、必要なときに任意の電話番号（位置表示用ディスプレイなどの周辺機器）に位置情報を通知することができます。

待受画面で を長く（1秒以上）押し、発信画面に「♥」を表示させる ▶ 電話番号を入力する ▶



- 電話番号は、発信履歴（27ページ）、着信履歴（27ページ）、アドレス帳（49ページ）からも呼び出すことができます。
- 位置情報を通知または送出するときは、分計発信（196ページ）を使用できます。

相手から位置情報送出手の要求があったとき

「**L**設定」および「自動位置情報送出手機能」を「ON」に設定すると、あらかじめ登録している「通知許可番号」から位置情報送出手の要求があったとき、自動的に位置情報を送ります。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。



- 本機を操作中に位置情報送出手の要求があったとき、操作は中断されます。位置情報の送出手が終了すると、待受画面に戻ります。

所在位置を登録する

「**L**設定」および「自動位置情報送出手機能」を「ON」に設定すると、本機の所在位置を登録することができます。位置情報送出手の要求があったときは、登録した情報が送られます。また、位置情報と一緒に、そのときの状態を「ステータスコード」を使って登録することもできます。詳しくは、ウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

■所在位置のみ登録する

待受画面で

1 を長く（1秒以上）押し

位置情報送信画面が表示されます。

2 を押す

位置情報動作中画面が表示されます。送信が終了すると、送信終了画面に切り替わり、待受画面に戻ります。

■所在位置とステータスコードを登録する

待受画面で ▶ **ステータスコードを入力する** ▶ ▶



- ステータスコードを登録する際は、184発信、186発信、分計発信は使用できません。



- ステータスコードは「1」～「20」の範囲で入力してください。ステータスコードの詳細についてはウィルコム、またはご利用の位置情報サービス提供会社へお問い合わせください。

● 国際ローミングを利用する（お申し込み必要）（国際ローミング） 機能番号94

ウィルコムに別途国際ローミング契約をお申し込みになると、本機が台湾やタイ、ベトナム、中国の一部地域でも使えるようになります。台湾やタイ、ベトナム、中国でご使用になる場合には、本機をローミングモード（日本以外）に切り替える必要があります。利用できる「対応エリア」、「地域」、「国」なども含め、詳細については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

本機を充電する際のACアダプタ（AD330K）は、AC100～240Vに対応しています。海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。

ローミングモードに切り替える

ローミングモードで使用するには、ローミングモードへ切り替える必要があります。

待受画面で ▶ ▶

以下の項目から選択します。

1.1 事業者選択方法 お買い上げ時： 「自動選択」	1.1 自動選択 ローミング先の事業者を、本機が自動で選択します。自動選択終了後、 2.2 「自動選択事業者一覧」の画面が表示されます。
	2.2 手動選択 ローミング先の事業者を、 3.3 「国・地域／事業者選択」から選択します。
2.2 自動選択事業者一覧*1 お買い上げ時： 「日本／ウィルコム」	「自動選択」可能な事業者が表示されます。 1.1 「自動選択」で選択された事業者の横に「」が表示されます。
3.3 国・地域／事業者選択*2 お買い上げ時： 「日本／ウィルコム」	1.1 日本／ウィルコム 本機を日本で使用できるように切り替えます。
	2.2 台湾／大衆電信FITEL 本機を台湾で使用できるように切り替えます。
	3.3 タイ／true 本機をタイで使用できるように切り替えます。
	4.4 ベトナム／VNPT 本機をベトナムで使用できるように切り替えます。
	5.5 中国／中国PHS 本機を中国の一部地域で使用できるように切り替えます。
4.5 ローミング情報登録 各国ごとのローミング情報を設定します（「ローミング情報を登録する」175ページ）。	

*1： **1.1**「事業者選択方法」で**1.1**「自動選択」を選択した場合にのみ選択できます。

*2： **1.1**「事業者選択方法」で**2.2**「手動選択」を選択した場合にのみ選択できます。

ご注意

- **1.1**「自動選択」で台湾、タイ、ベトナム、または中国でご使用する際は、入国時に本機の電源のOFF/ON（24ページ）をしてください。日本に帰国した際も、本機の電源のOFF/ONをしてください。
- **2.2**「手動選択」で台湾、タイ、ベトナム、または中国でご使用する際は、入国時に**3.3**「国・地域／事業者選択」をその国・地域／事業者に切り替えてください。日本に帰国した際は、必ず**3.3**「国・地域／事業者選択」を**1.1**「日本／ウィルコム」に切り替えてください。

お知らせ

- ローミングモードに切り替えると、メインディスプレイに「」が表示されます。
- ローミングモードでは、以下の機能はご利用になれません。
 - ・安全運転モードのネットワーク応答、
 - ・ネットワーク応答+音声メモの切り替え
 - ・発信者番号付加機能（184、186）
 - ・分計発信
 - ・ライトメール送信・受信
 - ・Eメール自動受信
 - ・L1設定
 - ・通信中着信
 - ・通信中メール受信
 - ・サービス問合せ
 - ・ソフトウェア更新
- ローミングモード時は、時差情報により本機の時刻は現地時間に合わせて自動的に調整されます。

ローミングモードで電話をかける

ローミングモードで電話をかけるには、直接相手の電話番号を入力し、を押します。

ローミング国・地域から日本など他の国や地域に電話をかけるときには、国際プリフィックス番号の入力が必要となります。

ローミングモードで電話を受ける

ローミングモードで電話を受けるには、ローミング電話番号、ウィルコムの電話番号のどちらでも電話を受けることができます。ただし、ウィルコムの電話番号で電話を受けるには、ウィルコムへのお申し込みが必要となります。

国際プリフィックス番号を簡単に付ける

ローミングモードのご利用時に、日本など他の国や地域に電話をかけるときには、相手の国番号の前に「国際プリフィックス番号」を付ける必要があります。本機では、簡単な操作で国際プリフィックス番号を入力することができます。

例：日本の「070-1234-x x x x」という番号に電話をかける場合

待受画面で

1

国際プリフィックス番号と日本の国番号が表示されます。

2

相手の電話番号から、先頭の「0」を除いた番号（ここでは「701234 x x x x」）を入力します。

3 を押す

お知らせ

●発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモ、またはアドレス帳に登録されている電話番号に国際プリフィックス番号を付加して電話をかけるには、以下の手順を行います。

■発信履歴／着信履歴の電話番号に付加する場合

待受画面で (発信履歴) または (着信履歴) 【メニュー】 「発信」 で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる

■アドレス帳に登録されている電話番号に付加する場合

待受画面で 【アドレス帳】 (検索するアドレス帳の「名前」を入力し、 【検索】)* アドレス帳を選択し、 【詳細表示】 電話番号を選択 【メニュー】 「発信」 で表示されている電話番号の頭にカーソルを合わせる

*：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（52ページ）で異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。

ローミング情報を登録する（ローミング情報登録）

機能番号944

ローミング情報の登録は、手入力による登録と、ローミングメール登録の2とおりがあります。ここでは、手入力による登録方法を説明します。

待受画面で

1

以下の項目から選択します。

台湾／大衆電信FITEL	「ローミング電話番号」	ローミング電話番号を入力する
タイ／true	登録日時	ローミング情報が登録された日時を表示します。
ベトナム／VNPT	ローミング先PS-ID	ローミング先PS-IDを入力する
中国／中国PHS	PS番号	PS番号を入力する
	ローミング電話番号	ローミング電話番号を入力する 入力できる桁数は32桁までです。
	暗証番号	暗証番号を入力する 入力できる桁数は2桁までです。

2 【登録】を押す

お知らせ

●ローミングメール登録とは、お客様がウィルコムサービスセンターで国際ローミングのお申し込みをされた後、約1時間程でライトメールにてローミング情報が通知され、自動的に本機に登録される方法です。

●ローミング情報をリセットした場合は、以下の手順で登録し直します。

■タイ、ベトナム、または中国の場合

ローミングメールで通知された内容をコピー 【タイ／true】、 【ベトナム／VNPT】、または 【中国／中国PHS】 【はい】を選択し、 【選択】 【登録】

●ローミング電話番号を登録すると、登録した電話番号をプロフィール（「プロフィールを登録/確認する」167ページ）で確認することができます。


ローミング情報を削除する













選択した国のローミング情報をすべて削除します。

待受画面で 【削除】 【はい】

●国際ローミングを利用する（お申し込み必要）（国際ローミング）

● 各機能の情報を削除する

発信履歴やアドレス帳など、各機能の情報を削除するには、【メニュー】でメニューを表示させて、「削除」を選択します。機能によって、「削除」を選択した後、「1件」「全件」などの削除方法を選択します。

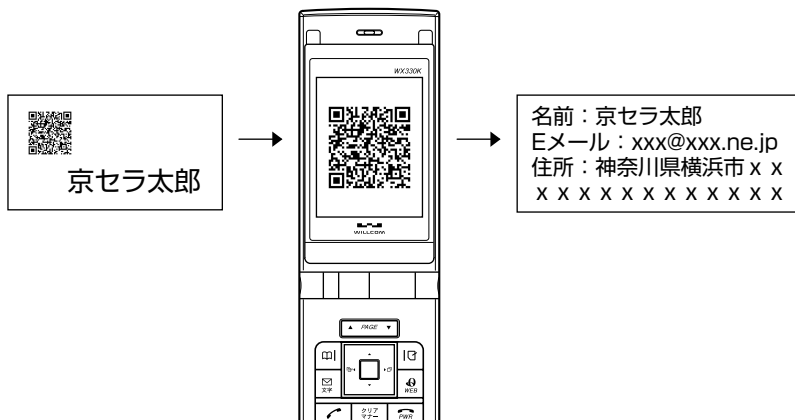
削除方法	内容
1件／1件削除	<p>▶  「はい」を押す</p> <p>選択している、または表示している内容を削除します。</p>
選択	<p>▶ 削除する内容を選択し、 【選択】を繰り返す ▶  【削除】または  【削除】 ▶  「はい」</p> <p>削除したい内容を複数選択し、削除します。選択を解除するには、選択したデータを選択し、 【解除】を押します。</p>
全件／全削除	<p>▶ 暗証番号を入力* ▶  「はい」</p> <p>すべての内容を削除します。</p>
グループ	<p>アドレス帳の削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力 ▶  「はい」</p> <p>選択したグループを削除します。</p>
チェック済み	<p>TODOリストの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力 ▶  「はい」</p> <p>チェックが付いているTODOをすべて削除します。</p>
指定日以前	<p>スケジュールの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力 ▶  【選択】 ▶ 指定日を入力し、 【確定】 ▶  「はい」</p> <p>指定日以前のスケジュールをすべて削除します。</p>
フォルダ／フォルダ内	<p>データフォルダ、ブックマークの削除で表示されます。</p> <p>▶ 暗証番号を入力 ▶  「はい」</p> <p>フォルダ内のデータをすべて削除します。</p>

*：発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を全件削除する場合、入力する必要はありません。


● QRコードリーダーを使う

QRコードリーダーを起動する

QRコード (Quick Response Code) とは、豊富な情報を持った2次元コードです。本機のカメラでQRコードを撮影して読み取ったり、データフォルダ (本体メモリ/microSDカード) に保存したQRコードの画面を解析することができます。読み取ったEメールアドレスやURL、住所などの文字情報を使って、アドレス帳登録やメール作成などが行えます。



● ご注意

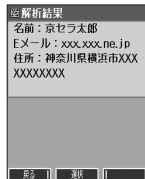
- QRコードを読み取るには、マクロ撮影切替スイッチ (15ページ) を「」に切り替えてください。
- QRコードが汚れている、かすれている、印刷が薄いなどの場合は、読み取れないことがあります。
- 管理者ロックの「カメラ使用」 (159ページ) が「禁止」に設定されているときは、QRコードリーダーを利用することができません。

■ カメラのモニター画面から起動する

カメラで撮影したQRコードを読み取ります。

待受画面で  ▶ 「カメラ」を選択し、 【選択】 ▶  「撮影」 ▶  【メニュー】 ▶  「QRコードモード」 ▶ QRコードを画面に表示し、 【撮影】

解析結果画面



■ アクセサリから起動する

データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に保存したQRコードの読み取り、保存した解析結果の表示、QRコードリーダーのバージョン情報の確認ができます。

待受画面で ▶ **「アクセサリ」を選択し、** **【選択】** ▶ **3. app** **【QRコードリーダー】**

以下の項目から選択します。

1. <small>撮影</small> 撮影する	▶ QRコードを画面に表示し、 <input type="checkbox"/> 【撮影】 撮影したQRコードを読み取ります。
2. <small>画像</small> 画像解析	(<input type="checkbox"/> 1. <small>本体メモリ</small> または <input type="checkbox"/> 2. <small>microSD</small>) * ▶ QRコードの画像データを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に保存したQRコードの画像を解析して、解析結果を表示します。
3. <small>保存</small> 保存データを表示	(<input type="checkbox"/> 1. <small>本体メモリ</small> または <input type="checkbox"/> 2. <small>microSD</small>) * ▶ QRコードデータを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に保存していた解析結果を表示します。
4. <small>バージョン</small> バージョン情報	QRコードリーダーのバージョンを表示します。

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

■ QRコード解析画面のメニューを使う

解析結果画面で **【選択】** を押す

以下の項目が表示されます。表示できる項目は、選択している項目により異なります。

1. <small>保存</small> 保存	解析結果を保存します。保存した解析結果のファイル名は、QR_YYYYMMDDhhmm.QRCとなります（Y：年、M：月、D：日、h：時、m：分）。ただし、解析結果がvCard／vCalendarの場合、拡張子はそれぞれ「.vcf」／「.vcs」となります。
2. <small>コピー</small> コピー	▶ コピー範囲の始点を選択し、 <input type="checkbox"/> 【始点】 ▶ 終点を選択し、 <input type="checkbox"/> 【終点】 解析結果のテキスト内容をコピーします（全角、半角共に1024文字まで）。
3. <small>発信</small> 発信 ^{*1}	▶ <input type="checkbox"/> 【発信】 を押す 選択した電話番号に電話をかけます。また、電話番号を編集して電話をかけることもできます。
4. <small>アドレス帳</small> アドレス帳へ登録	1. <small>新規</small> 新規 選択した電話番号やEメールアドレス、URLなどをアドレス帳に新規登録します（「アドレス帳の各項目を登録する」46ページ）。
	2. <small>追加</small> 追加 ▶ (検索するアドレス帳の名前を入力し、 <input type="checkbox"/> 【検索】) ▶ *アドレス帳を選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 登録先を「電話番号1～3」または「Eメールアドレス1～3」またはURLを選択し、 <input type="checkbox"/> 【選択】 ▶ <input type="checkbox"/> 【登録】 または <input type="checkbox"/> 【登録】 ▶ <input type="checkbox"/> 1. <small>はい</small> *：アドレス帳の検索方法は「呼び出し時検索設定」の設定（52ページ）と異なり、ここでは検索画面で「名前」を入力してアドレス帳を表示する方法（お買い上げ時の設定）で説明しています。 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号やEメールアドレス、URLなどを追加登録します。
5. <small>ライトメール</small> ライトメール作成 ^{*1}	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」64ページ）。
6. <small>Eメール</small> Eメール作成 ^{*2}	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメール（テキストメール／装飾メール）を作成して送信する」57ページ）。
7. <small>URL</small> URLページへ接続 ^{*3}	選択したURLのWebページをOperaブラウザで表示します。
8. <small>ブックマーク</small> ブックマークへ登録 ^{*3}	▶ タイトルを入力し、 <input type="checkbox"/> 【登録】 選択したURLをブックマークに登録します。
9. <small>マイオリジナル</small> マイオリジナルへ登録 ^{*4}	QRコードをマイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」33ページ）。
10. <small>赤外線</small> 赤外線送信 ^{*5}	解析結果を赤外線で送信します（「赤外線で送信する」186ページ）。

*1：電話番号を選択した場合のみ表示されます。

*2：Eメールアドレスを選択した場合のみ表示されます。

*3：URLを選択した場合のみ表示されます。

*4：本体メモリのデータフォルダに保存されているQRコードのデータの場合のみ表示されます。

*5：「アクセサリから起動する」（178ページ）の「保存データを表示」から操作した場合のみ表示されます。

● Java™アプリについて

Java™アプリとは、PHSや携帯電話でゲームなどがご利用いただけるアプリケーションソフトです。Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールし、本機でお楽しみいただけます。本機には、以下のアプリケーションがプリインストールされています。

- ・ブレインチャレンジ (体験版)
- ・ぶよぶよフィーバーDX体験版
- ・上海【体験版】

● ご注意

● 管理者ロックの「Java™アプリ使用」(157ページ)が「禁止」に設定されているときは、Java™アプリを利用することができません。ただし、「禁止」に設定していても、Java™アプリのダウンロードおよび、データフォルダに保存されている「.jad」アプリケーションのインストールは可能です。

Java™アプリをインストールする

Java™対応サイトからお好みのアプリケーションをインストールできます。インストールしたアプリケーションは、「アプリ一覧」に保存されます。アプリケーションには2種類のデータ（「.jad」「.jar」）があります。

■ Java™アプリを提供するWebサイトからインストールする場合

待受画面で  ▶  【公式サイト】 ▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする

または

待受画面で  ▶ 「Java™」を選択し、 【選択】 ▶  【公式サイトから探す】 ▶  【はい】 ▶ 画面の指示に従って「ゲーム/アプリ」などをインストールする

■ データフォルダに保存されている「.jad」「.jar」を使用してインストールする場合

待受画面で  ▶ 「データフォルダ」を選択し、 【選択】 ▶  【その他】 ▶ 拡張子が「.jad」のファイルを選択し、
 【選択】

● ご注意

- インストールは、電波状況の良い場所で行ってください。電波状況が悪い場所や移動中は、正しくインストールされない場合があります。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください（「データを削除する」119ページ）。

● お知らせ

● お客様がインストールされたアプリケーションの動作については、各アプリケーション提供会社へお問い合わせください。

Java™アプリを起動する

待受画面で

1  ▶ 「Java™」を選択し、 【選択】 ▶  【アプリ一覧】

2 起動したいアプリケーションを選択し、 【決定】 ▶ 各アプリケーションの画面の指示に従って操作する

● ご注意

- データフォルダの空き容量が足りない場合は、アプリケーションを起動できない場合があります。不要なデータを削除して空き容量を確保してください（「データを削除する」119ページ）。
- 操作ロックの「Java™アプリ」(143ページ)が「禁止」に設定されていると、暗証番号の入力が必要です。

■ Java™アプリ一覧画面のメニューを使う

待受画面で ▶ **[Java™]** を選択し、 **[選択]** ▶ **1.5** **[アプリ一覧]** ▶ **1.6** **[メニュー]** を押す

以下の項目から選択します。表示される項目は、登録されている内容により異なります。

新規フォルダ作成	▶ フォルダ名を入力し、 <input type="checkbox"/> [決定] フォルダを作成すると、アプリケーションをフォルダごとに管理できます。
フォルダ削除*	▶ [Yes] を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択しているフォルダを削除します。選択したフォルダ内にアプリケーションが登録されている場合は、削除できません。
フォルダ名編集*	▶ フォルダ名を編集し、 <input type="checkbox"/> [決定] 「新規フォルダ作成」で作成したフォルダ名を編集します。
移動	▶ 移動先のフォルダを選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したアプリケーションを別のフォルダに移動します。
アップデート	▶ [Yes] を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] アプリケーションのソフトが更新されている場合はバージョンアップを行います。
削除	▶ [Yes] を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 選択したアプリケーションまたはフォルダを削除します。
全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ [Yes] を選択し、 <input type="checkbox"/> [決定] 「Java™アプリ一覧」に登録されているアプリケーションとフォルダをすべて削除します。
ソート	名前、起動日時、作成日時、サイズ、起動回数による昇順/降順を選択すると、選択した順に表示します。
詳細情報	選択しているアプリケーションの詳細情報を表示します。
許可設定	「ネットワーク接続」と「ローカルポート使用」があります。
システム情報	「Java™アプリ一覧」の登録容量を表示します。
マイオリジナル	選択したアプリケーションを、マイオリジナルに登録します（「マイオリジナルを使う」33ページ）。

*：フォルダを選択しているときのみ表示されます。



- 「削除」および「全削除」では、プリインストールされている「ブレインチャレンジ（体験版）」、「ぶよぶよフィーバーDX体験版」、「上海【体験版】」も削除できます。ただし、一度削除したアプリケーションは復元できませんのでご注意ください。

■ Java™アプリの設定をする

待受画面で ▶ **[Java™]** を選択し、 **[選択]**

以下の項目から選択します。

1.5 アプリ一覧	あらかじめプリインストールされている「ブレインチャレンジ（体験版）」、「ぶよぶよフィーバーDX体験版」、「上海【体験版】」や、お客様がインストールしたアプリケーションが登録されています。登録したアプリケーションの起動は、ここから行います（「Java™アプリを起動する」179ページ）。	
2.5 公式サイトから探す*	▶ 1.5 [はい] を押す 公式サイトに接続して、Java™アプリをダウンロードすることができます。	
3.5 接続先設定 お買い上げ時： [CLUB AIR-EDGE]	▶ 1.5 ~ 3.5 (接続先を選択) アプリケーションの通信先を設定します。	
4.5 自動起動設定 お買い上げ時： [ON]	▶ 1.5 [ON] または 2.5 [OFF] アラーム登録のできるアプリケーションの自動起動を行うかどうかの設定をします。	
5.5 サウンド お買い上げ時： [端末の設定に従う]	1.5 常に再生する	アプリケーションのサウンドを常時再生します。マナーモード設定中（36ページ）でも音が鳴ります。
	2.5 端末の設定に従う	アプリケーションのサウンドを、本機の音関連の設定に従って再生します。

*：Operaブラウザの表示モードは、「ケータイモード」で表示されます。

● データのバックアップをする

データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）へのバックアップ機能を利用して、アドレス帳やスケジュール、TODOリスト、ブックマークをバックアップすることができます。バックアップしたデータは、紛失したときなどに再度呼び出して登録することができます。

- ・アドレス帳（46ページ）
- ・ブックマーク（86ページ）
- ・スケジュール（134ページ）
- ・TODOリスト（137ページ）

🔔 ご注意

●以下の管理者ロックが設定されているときは、バックアップを利用することはできません。

管理者ロック	設定値	制限される機能	参照先
アドレス帳閲覧	禁止	アドレス帳データのエクスポート／インポート不可	155ページ
アドレス帳編集	禁止	アドレス帳データのインポート不可	
ブックマーク限定WEB接続	限定	ブックマークデータのインポート不可	156ページ
microSD使用	禁止	microSDカードへの各データのエクスポート／インポート不可	158ページ
バックアップ使用	禁止	各データのエクスポート／インポート不可	159ページ

データをバックアップする

それぞれの機能に登録されているデータを、データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）にエクスポート（書き込み）してバックアップしておくことができます。

🔔 ご注意

- エクスポート中はmicroSDカードを抜かないでください。
- バックアップしたファイルは再生できません。
- データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）の空き容量が不足している場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除し、空き容量を確保してください（「データを削除する」119ページ）。

📢 お知らせ

●エクスポートしたデータはデータフォルダ（本体メモリ／microSDカード）の「その他フォルダ」に保存されます。ファイル名は以下のとおりです。

データの種類	ファイル名
アドレス帳	AD330K.KBF
スケジュール	SD330K.KBF
TODOリスト	TD330K.KBF
ブックマーク	BM330K.KBF

- エクスポートしたデータのファイル名は、変更することができます。ただし、ファイル名を変更した場合は、バックアップデータをインポートすることはできません。
- データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に同名のバックアップデータが保存されている場合は、上書き確認画面が表示されます。すでにあるバックアップデータと置き換えて登録するには、**[F2]**「はい」を押します。
- バックアップデータは、データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）から削除することができます（「データを削除する」119ページ）。
- エクスポート中に、**[ESC]**を押したり、着信などによって中断された場合は、中断されるまでの内容は削除されます。この場合、再度エクスポートし直してください。

■ データフォルダにエクスポートする

待受画面で **[F2]** ▶ **[アクセサリ]** を選択し、**[F2]** ▶ **[選択]** ▶ **[4.abc]** **「バックアップ」**（▶ **[F2]** **「データフォルダ」**）* ▶ **[F2]** **「本体⇒データフォルダ」** ▶ **[F2]** **「アドレス帳」**、**[2.abc]** **「スケジュール」**、**[3.def]** **「TODOリスト」**、または**[4.abc]** **「ブックマーク」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **[F2]** **「はい」**

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

■ microSDカードにエクスポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で **[F2]** ▶ **[アクセサリ]** を選択し、**[F2]** ▶ **[選択]** ▶ **[4.abc]** **「バックアップ」** ▶ **[2.abc]** **「microSD」** ▶ **[F2]** **「本体⇒microSD」** ▶ **[F2]** **「アドレス帳」**、**[2.abc]** **「スケジュール」**、**[3.def]** **「TODOリスト」**、または**[4.abc]** **「ブックマーク」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **[F2]** **「はい」**

バックアップデータをインポート（それぞれの機能に登録）する

データフォルダ（本体メモリ／microSDカード）に保存されているバックアップデータを、それぞれの機能に保存し直します。

● ご注意

● インポート中はmicroSDカードを抜かないでください。

● お知らせ

- インポート中に、を押したり、着信などによって中断された場合は、中断されるまでの内容が保存されます。この場合、再度インポートし直してください。
- 本機（WX330K）以外のバックアップデータも、本機にインポートすることができます。インポートできるバックアップデータの種類は以下のとおりです。事前に、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダにバックアップファイルを保存しておいてください。

機種名	ファイルの種類
WX310K	AD310K.vcf、SD310K.vcs、TD310K.vcs、BM310K.vbm ※上記のバックアップデータは、miniSD™メモリカード（市販品）の「PRIVATE」フォルダ⇒「BACKUP」フォルダに保存されています。インポートする場合は、本機の本体メモリ、またはmicroSDカードの「PRIVATE」フォルダ⇒「KYOCERA」フォルダ⇒「DATA」フォルダに保存してください。
WX320K	AD320K.KBF、SD320K.KBF、TD320K.KBF、BM320K.KBF
WX320KR	
WX331K	

■ データフォルダからインポートする

待受画面で ▶ **「アクセサリ」** を選択し、 **「選択」** ▶ **「バックアップ」** (▶ **「データフォルダ」**) * ▶ **「データフォルダ⇒本体」** ▶ **「アドレス帳」**、 **「スケジュール」**、 **「TODOリスト」**、または **「ブックマーク」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **「はい」**

* : microSDカード挿入時のみ表示されます。

■ microSDカードからインポートする

操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で ▶ **「アクセサリ」** を選択し、 **「選択」** ▶ **「バックアップ」** ▶ **「microSD」** ▶ **「microSD⇒本体」** ▶ **「アドレス帳」**、 **「スケジュール」**、 **「TODOリスト」**、または **「ブックマーク」** ▶ **暗証番号を入力** ▶ **「はい」**

● パソコンへのデータのバックアップについて

データのバックアップは、パソコンにも行うことができます。その際は、付属CD-ROMの「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールしてください。インストール方法については、付属CD-ROMのインストーラーの指示に従ってください。「京セラPHSユーティリティソフトウェア」の詳細については、「京セラPHSユーティリティソフトウェア」をインストールした後、「スタート」⇒「すべてのプログラム」⇒「京セラPHSユーティリティソフトウェア」⇒「取扱説明書」にてご確認ください。

対応OS : Microsoft® Windows® Vista®/XP/2000（日本語版プリインストールモデルに限る）

● 京セラPHSユーティリティソフトウェアの機能について

- **メモリアイタルツール**
電話機のアドレス帳の各種設定*、内容等をパソコン上で自由に編集できます。電話機では手間のかかる名前の入力や、何百件ものデータの整理や検索も、パソコンの大きな画面やキーボードを使えば簡単です。
※一部設定できない機能がござります。
- **メールツール**
電話機に届いたEメール/ライトメールをパソコンで管理したり、Eメールをパソコンで作成したりすることができます。
- **ブックマークツール**
電話機に登録したホームページのブックマークをパソコンに転送したり、パソコンに登録したブックマークを電話機に転送したりすることができます。
- **データファイラー**
データフォルダにある画像や着信メロディなどのデータのバックアップなどを行うことができます。
※著作権保護がかかっているデータについては、転送することができません。
※扱えるファイルサイズは1ファイルにつき5MBまでです。
- **画像ツール**
電話機の待受画面の作成や、作成した画像を電話機に転送することができます。
- **スケジュールツール**
電話機に登録したスケジュール/TODOをパソコンに転送したり、パソコン上で編集したスケジュール/TODOを電話機に転送したりすることができます。Outlookの予定表をインポートすることも可能です。
※電話機に転送できるスケジュールは150件、TODOは50件です。

データのバックアップをする

● パソコンとデータのやり取りをする（マストレージ）

本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐだけで、パソコンからmicroSDカードにあるデータの閲覧や、コピーすることができます。操作を行う前に、本体にmicroSDカードが正しく装着されているか、ご確認ください。

待受画面で

1 パソコンの電源を入れる

2 本機を待受画面にし、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する

3 本機で「**F.3**」【はい】を押す

● **F.3** ● ご注意

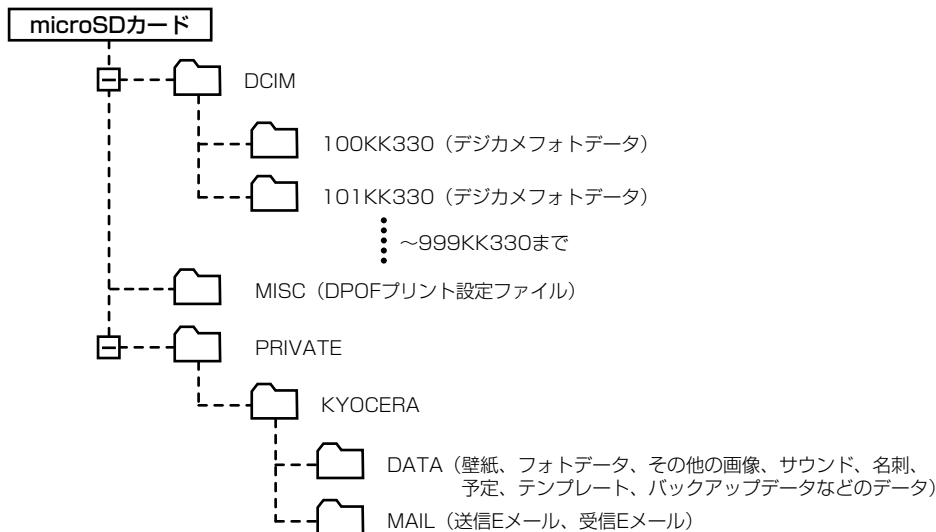
- マストレージ接続時は、WX330K本体の機能は利用できません。電話の発着信やメールの送受信も行えません。
- マストレージ機能を利用する場合は、本機にmicroSDカードを挿入してください（「microSDカードの取り付け／取りはずし」8ページ）。
- マストレージ接続中は、microSDカードを抜かないでください。
- マストレージ接続中は、バッテリーを外さないでください。
- バッテリーは十分に充電してから接続してください。接続中にバッテリーが不足すると、パソコンのエラーやデータ破損の原因となります。
- 管理者ロックの「microSD使用」（158ページ）または「USB接続」（159ページ）が「禁止」に設定されているときは、マストレージを利用することができません。

● **F.3** ● お知らせ

- マストレージ接続の終了は、以下の操作で行います。
マストレージ接続中に、パソコンからUSB切断の操作をする
- 手順3で「いいえ」を選択した後、再度マストレージを利用したい場合は、以下の手順で行います。
待受画面で**F.3** ▶ 「アクセサリ」を選択し、**F.3** 【選択】 ▶ **F.3** 【USBマストレージ】 ▶ **F.3** 【はい】
- マストレージの対応OSは、Microsoft® Windows® Vista®/XP/2000、Mac OS Xです。

マストレージ接続時に表示されるフォルダとデータの種類

本機のデータは、パソコン上で以下のように表示されます。



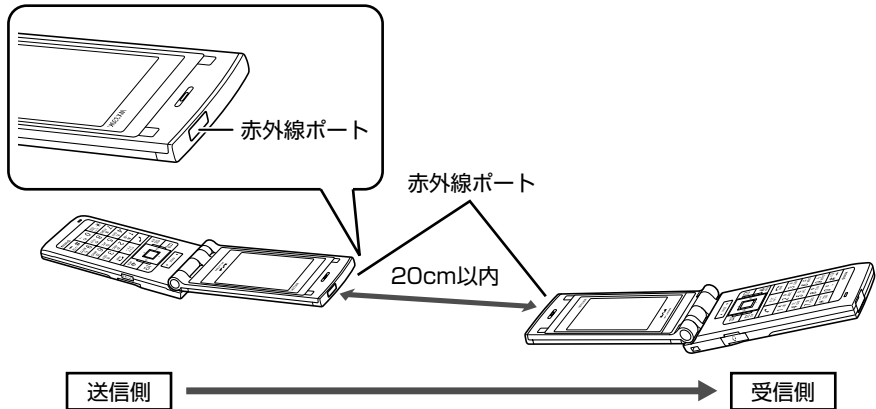
赤外線通信の使いかた

● 赤外線通信について

赤外線通信の機能を持つ機器と本機で、赤外線を使用してデータの送受信を行うことができます。赤外線で送受信できるデータは以下のとおりです。

■ 送信できるデータの種類の

送信データ	送信件数	送信データ	送信件数
プロフィール	1件	ブックマーク	1件/全件
アドレス帳	1件/全件	メモ帳	1件/全件
スケジュール	1件/全件	本体メモリ	1件
TODOリスト	1件/全件	microSDカード	1件



赤外線通信の通信距離は20cm以内です。また、データの送受信が終わるまで、本機の赤外線ポートを相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

● ご注意

- 赤外線通信中は、以下の機能の指定時刻が経過しても、起動しません。赤外線通信完了後に起動します。また、赤外線通信中は「USB通信」は行えません。
 - ・アラーム
 - ・スケジュールアラーム
 - ・TODOリストアラーム
 - ・RSS自動更新
 - ・Java™自動起動
- 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
- 管理者ロックの「赤外線通信使用」(158ページ)が「禁止」に設定されているときは、赤外線通信を利用することができません。

● お知らせ

- 赤外線通信を行うには送信側と受信側でそれぞれ準備する必要があります(受信側が赤外線受信待ち状態になっていることを確認してください)。
- 本機の赤外線通信はIrMC™バージョン1.1に準拠している機器と通信可能です。ただし、相手の機器がIrMC™バージョン1.1に準拠していても、機器やデータによっては正しく送受信できないことがあります。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 送受信できるデータ容量は最大4Mバイトです。また、データの容量によって通信や登録、保存に時間がかかる場合があります。

赤外線で受信する

本機を赤外線受信の待機状態にして、通信相手からのデータ送信を待ちます。受信時に認証パスワードの入力が必要な場合があります。認証パスワードとは、受信を行う前にあらかじめ通信相手と決める4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。受信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、受信操作が中止されます。

待受画面で

1 ▶ 「赤外線」を選択し、 「選択」 ▶ 「赤外線受信」

赤外線受信待ち状態になります。

2 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる

■ 1件受信の場合





3 受信完了 ▶ 「はい」

■ 全件受信の場合




3 認証パスワードを入力* ▶ 受信完了

*：約30秒以内に認証パスワードを入力しないと、受信を中止します。

以下の項目から選択します。表示される内容は、選択した項目により異なります。

 追加登録	受信したデータを本機内のデータに追加登録します。
 上書き登録	▶  「はい」 ▶ 暗証番号を入力 本機に登録済みのデータを削除して、受信したデータを上書き登録します。全件受信したアドレス帳を上書き登録する場合、同時にプロフィールも上書きされます。
 登録しない	受信したデータを破棄して、赤外線メニュー画面に戻ります。

お知らせ




- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータを受信しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 受信したアドレス帳、スケジュール、TODOリストのデータがシークレット設定「ON」されている場合、本機でもシークレット設定「ON」されます。
- アドレス帳、スケジュール、TODOリスト、ブックマーク、メモ帳のデータ受信時、受信先の登録件数が本機の登録可能件数の上限を超えた場合、何件受信したのかの確認画面が表示されます。 「追加登録」、 「上書き登録」、 「登録しない」から選択します。上限を超えた分のデータは破棄されます。

■ データフォルダ／microSDカードのデータを受信する

データフォルダ／microSDカードのデータを1件受信します。


赤外線受信画面で 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 受信完了

以下の項目から選択します。

 本体メモリに保存	受信したデータをデータフォルダに保存します。
 microSDに保存*	受信したデータをmicroSDカードに保存します。
 保存しない	受信したデータを破棄して、赤外線通信メニュー画面に戻ります。

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

お知らせ

- 「赤外線受信」を選択後、約30秒以内にデータを受信しないと、赤外線受信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 保存先に同じファイル名がある場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きする場合は、 「はい」を押します。

赤外線受信画面



赤外線で送信する

赤外線受信の待機をしている通信相手に、本機から赤外線でデータを送信します。全件送信を選択した場合は、認証パスワードの入力が必要です。認証パスワードとは、送信を行う前にあらかじめ通信相手と決める4桁の数字です。まず送信側で設定し、受信側は同じ数字を入力します。送信するデータが4Mバイトを超える場合はエラーメッセージが表示され、送信操作が中止されます。

待受画面で

1 ▶ 「赤外線」を選択し、 【選択】 ▶ 2 「赤外線送信」

2 1 「プロフィール」、 2 「アドレス帳」、 3 「スケジュール」、 4 「TODOリスト」、 5 「ブックマーク」、または 6 「メモ帳」

■ 1 「プロフィール」を送信する場合

3 【選択】を押す

■ 1 「プロフィール」以外の1件送信の場合

3 1 「1件送信」 ▶ データを選択し、 【選択】

■ 全件送信の場合

3 2 「全件送信」 ▶ 暗証番号を入力 ▶ 1 「はい」 ▶ 認証パスワードを入力

4 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了

🔔 ご注意

● 著作権のあるデータは送信できません。

🔔 お知らせ

- 送信中に送信を中止するには、 【中止】、または を押します。
- 送信後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 1件送信時にプロフィール、アドレス帳に画像データが登録されている場合は、画像データを送信するかどうかの確認画面が表示されます。画像データを送信する場合は、 1 「はい」を押します。ただし、スケジュールは画像データを送信できません。
- アドレス帳全件送信の場合は、1件目にプロフィールデータを付けて送信します。
- アドレス帳、スケジュール、TODOリスト全件送信時、本機のシークレットモード（145ページ）を「OFF」に設定中は、シークレット登録されたデータは送信できません。また「全件送信」の場合、シークレットモードを「ON」に設定中は、シークレット登録されたデータも送信します。ただし、画像は送信できません。
- 操作ロックの「アドレス帳閲覧」（143ページ）を「禁止」に設定しているときは、アドレス帳データ1件送信時の場合でも、手順3で 1 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。
- 操作ロックの「スケジュール」（143ページ）を「禁止」に設定しているときは、スケジュールデータまたはTODOデータ1件送信時の場合でも、手順3で 1 「1件送信」を押した後に暗証番号を入力する必要があります。

■ データフォルダ／microSDカードのデータを送信する

データフォルダ／microSDカードのデータを1件送信します。

赤外線送信画面で 7 「本体メモリ」または 8 「microSD」 ▶ データを選択し、 【選択】

*：microSDカード挿入時のみ表示されます。

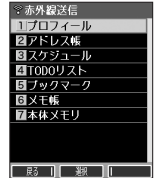
以下の項目から選択します。

7 通常送信	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 送信完了 選択したデータフォルダ、またはmicroSDカードのデータを1件送信します。
2 シンプルキャスト	▶ 本機と相手側の赤外線ポートを向かい合わせる ▶ 【送信開始】 ▶ 送信完了 本機はIrSimple 1.0を採用しています。IrSimpleShot™対応した機器へ送信できます。「シンプルキャスト™」で送信した場合、本機では相手が受信できたかどうかの確認は行いません。

🔔 お知らせ

- 送信中に送信を中断するには、 【中止】、または を押します。
- 送信後、相手が約30秒間応答しないと、赤外線送信を続けるかどうかの確認画面が表示されます。

赤外線送信画面



データ通信の使いかた

● データ通信の準備をする

パソコンと本機をUSBケーブルで接続してデータ通信をするために必要なものは、以下のとおりです。

- ・ USBケーブル USB (A) - USB (Micro-B)
- ・ USB端子を備えたノートパソコンなど各種情報端末
- ・ 通信ソフト

● データ通信について

本機で利用できるデータ通信方式は、以下の方式があります。

通信方式	最大通信速度	説明	付加番号	
4xパケット方式	204kbps*	ウィルコムが提供する、パケット通信方式です (W-OAM対応)。情報をパケットに分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。	##64	
2xパケット方式	102kbps*	数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。	##64	
1xパケット方式	51kbps*	ご利用になるには、ウィルコムの4x/2x/1xパケット方式に対応した料金コースにご契約いただき、アクセスポイントに接続してください。	##61	
フレックスチェンジ方式	64kbps	ウィルコムが提供する、1xパケット方式と64kPIAFS (ベストエフォート方式) の通信方式を、送受信されるデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。安定した速度を得ることができるため、より快適にデータ通信をご利用できます。ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式に対応した料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。	##7	
64kPIAFS	ベストエフォート方式	64kbps	ウィルコムが提供する、データ通信方式です。基地局の利用状況など、通信環境に対応して64/32kbpsの通信速度を選択し、切れにくい通信環境を実現します。	##4
	ギャランティ方式	64kbps	64kbps固定でのデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できない場合は切断します。	
32kPIAFS	32kbps	PHSの通信標準規格の通信方式です。	##3	

* : W-OAM対応地域における最大通信速度となります。

非対応地域では、それぞれ以下ようになります。

4xパケット方式 : 128kbps

2xパケット方式 : 64kbps

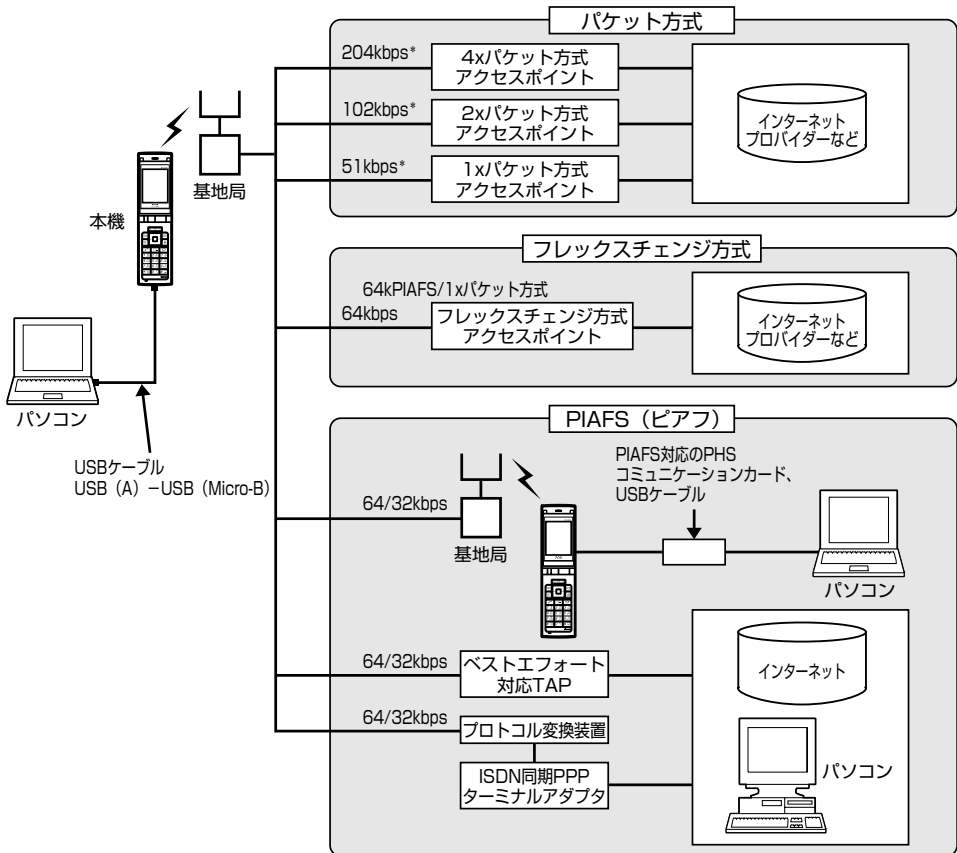
1xパケット方式 : 32kbps

● ご注意

- パケット方式を使用する場合は、「発信者番号通知」(30ページ)を「ON」に設定してください。
- パソコンへのメールソフトの設定、ダイヤルアップの設定につきましては、各プロバイダーにお問い合わせください。
- PIAFS方式で使用する場合でも、プロバイダーによっては「発信者番号通知」(30ページ)を「ON」に設定する必要があります。
- ダイヤルアップ用の電話番号の最後に、必ずご利用の通信方式に合わせた付加番号を入力してください。
- 管理者ロックの「USB接続」(159ページ)が「禁止」に設定されているときは、データ通信を利用することができません。

● お知らせ

- W-OAMとは、電波状況に応じて、最適な変調方式を自動的に選択する無線技術です。



*: W-OAM対応地域における最大通信速度となります。
非対応地域では、それぞれ以下ようになります。
4xパケット方式: 128kbps
2xパケット方式: 64kbps
1xパケット方式: 32kbps

お知らせ

- PIAFSとは、PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSでデータ通信を行う場合の標準規格です。
- bpsとは、Bits Per Secondの略で、データ通信で送る情報量の単位です。1秒間に何ビットのデータを送ることができるかを示します。
- 無線FAX、無線モデム、無線インターネットには対応していません。

データ通信に関してのお問い合わせ窓口

ウィルコムサービスセンター

- ウィルコムの電話から 局番なしの157 (無料)
- 一般加入電話/公衆電話から 0120-921-157 (無料)
※携帯電話・PHSからもかけられます。

受付時間: 9:00~19:00 (日・祝日も受付)

(2008年2月現在)

● 64kPIAFSの通信方式を設定する（データ通信方式）

機能番号92

64kPIAFS通信の方式を、「ベストエフォート型」と「ギャランティ型」から選択することができます。

お買い上げ時：
「ベストエフォート型」

待受画面で ▶ **9.0** ▶ **2.0c** ▶ **1.0** 「ベストエフォート型」または **2.0c** 「ギャランティ型」

お知らせ

- ウィルコムと契約をされている場合は、**1.0** 「ベストエフォート型」に設定してください。
- ウィルコム以外の事業者と契約をされている場合は、各事業者の通信方式を確認してください。

● 本機とパソコンを接続する

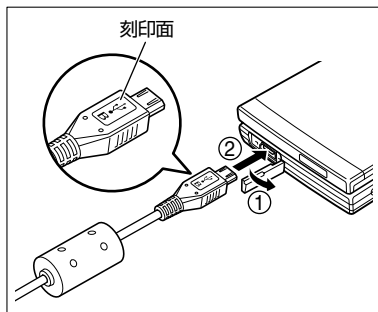
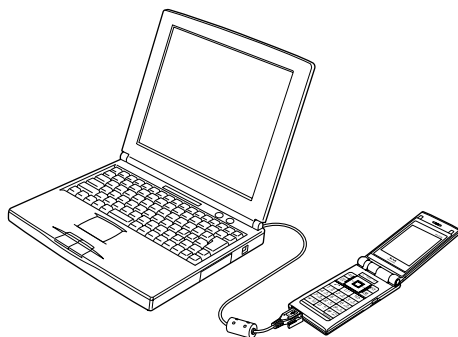
データ通信をするために本機とパソコンをUSBケーブルで接続します。USBケーブルは同梱品をお使いください。

1 パソコンを起動する ▶ 付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする

2 USBケーブルの幅広コネクタの向きをよく確認し、パソコンのUSBポートに接続する

3 本機のUSB端子カバーをはずし、USBケーブルのMicro-BコネクタをUSB端子にまっすぐ差し込む

接続が完了し、データ通信が可能な状態になったときは「ビボ」という確認音が鳴ります。ただし、パソコン側で低消費電流設定をしていると、接続しても「マストレージを使用しますか?」と表示されないことがあります。



USB端子のカバーを①の方向に開き、②の方向にUSBケーブルを差し込んでください。

ご注意

- 管理者ロックの「USB接続」（159ページ）が「禁止」に設定されているときは、USBケーブルを用いたデータ通信を利用することができません。

お知らせ

- USBケーブルを取りはずすときは、接続と逆の順序で行ってください。
- ご使用になるパソコンなどの詳しい設定や操作については、パソコンなどに付属の取扱説明書をお読みください。
- 本機を卓上ホルダに置いて充電しながらデータ通信を行うと、バッテリーの消費を節約することができます。

USBモードを切り替える（USBモード）

機能番号72

本機をパソコンと接続したときに使用するUSBモードを切り替えます。

お買い上げ時：
「モデム&ユーティリティ」

待受画面で ▶ **7.0** ▶ **2.0c**

以下の項目から選択します。



1.0 モデム	本機を、CDC(Communication Device Class)に準拠したUSBモデムとして使用したいときに選択します。CDCに準拠したUSBモデムでは、Macintoshでデータ通信が利用できます。*
2.0 モデム&ユーティリティ	本機をモデムとして使用したり、付属CD-ROM内のWindows用の京セラPHSユーティリティソフトウェアを使用したいときに選択します（AH-K3001V/AH-K3002V/WX300K/WX310K/WX320K/WX320KR/WX331Kと互換）。




*：Windowsがプリインストールされているパソコン（Microsoft® Windows® Vista®/XP/2000がプリインストールされているパソコン）、Mac OS Xがプリインストールされているパソコンの場合、USBケーブルで接続するとモデム情報のインストールを求められます。モデム情報は付属のCD-ROMからインストールしてください。

● 発信する

● 待受画面で 本機とUSBケーブルで接続したパソコンなどで、データ通信の発信操作を行う

- 本機のディスプレイに通信方式の種別がアイコン文字で表示されます。
表示されるアイコンは以下のとおりです。

 PT	パケット方式
 FC	フレックスチェンジ方式


	64kPIAFS (ベストエフォート型)
	64kPIAFS (ギャランティ型)
	32kPIAFS

- アクセスポイントに接続すると、本機のディスプレイに通信時間が表示されます。データ通信を終了するには、パソコンからデータ通信を切断します。

● ご注意

- 以下の状態でのご利用は通信切断の原因となりますので、ご注意ください。
 - ・ 電波状態が悪い場所でのご利用
 - ・ 移動しながらのご利用
- 以下の場合は、データ発信を利用することはできません。
 - ・ 閉めるとロック (140ページ) の設定によるダイヤルロック中のとき
 - ・ 操作ロックの「データ発信」(143ページ) が「禁止」に設定されているとき
 - ・ 管理者ロックの「USB接続」(159ページ) が「禁止」に設定されているとき

● お知らせ



-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- 確実にデータ通信を行うため、データ通信を始める前に本機のバッテリー残量が十分であることを確認してください。
- 分計発信をするときは、電話番号の最後に「01」を入力します (「料金分計サービスについて (お申し込み必要)」196ページ)。
例: 「03-△△△△-△△△△##4,01」
なお、データ通信での分計発信は、PIAFSのみ対応となります。
- データ通信をしたときの電話番号は、発信履歴には記録されません。
- データ通信中に本体を閉じてもデータ通信は切断されません。
- 通信設定やデータ通信の発信操作は、使用する通信ソフトにより異なります。詳しくは、通信ソフトの取扱説明書をご参照ください。
- データ通信の通信速度は、接続する機器や通信状況によって変わることがあります。
- 通信速度が遅いと感じるとき
 - ・ 電波や回線の状態が悪いことがあります。
 - ・ パソコンの通信設定が遅い場合があります。パソコンの設定を確認してください。
 - ・ メインディスプレイに「パケット」、「32kPIAFS」、「64kPIAFS BE」、「64kPIAFS GR」と表示されていても、相手のデータ通信速度が遅い場合、実際の通信速度は遅くなります。

● 着信する


データ通信中に パソコンで着信の操作を行う

- ・ 本機のディスプレイに「データ着信」と表示されます。
データ通信を終了するときには、パソコンからデータ通信を切断します。


ご注意

-  を押す、またはUSBケーブルを接続しパソコンで着信の操作を行うまで、着信音は鳴り続けます。 を押して応答することはできません。
- 管理者ロックの「アドレス帳限定着信」(154ページ) が「限定」に設定されているときは、アドレス帳に登録されていない電話番号からの電話を受けることができません。
- 管理者ロックの「USB接続」(159ページ) が「禁止」に設定されているときは、着信しますが応答することができません。

お知らせ

-  を押しても、データ通信を切断することができます。
- アドレス帳に登録されている電話番号から着信があったときは、登録名と着信番号が表示されます。ただし、以下の場合は、アドレス帳に登録されている電話番号から着信があった場合でも、登録名は表示されず、着信番号のみが表示されます。
 - ・ シークレットモード (145ページ) が「OFF」、および該当するアドレス帳の「シークレット設定」(47ページ) が「ON」に設定されているとき
 - ・ 操作ロック (143ページ) または管理者ロック (155ページ) の「アドレス帳閲覧」が「禁止」に設定されているとき
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしているときや、公衆電話からの発信のときなどは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- データ通信の着信はデータ通信の発信とは異なり、「閉めるとロック」が設定されていても、着信することができます。
- USBケーブルなどの接続ができていない状態でデータ通信を着信したときは、着信中にデータ通信の接続を完了すると、通常どおり受信することができます。 を押すと着信を拒否することができます。
- データ通信を着信したときの電話番号は、着信履歴に記憶されます。

